

令和 6 年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第十小学校

2. 令和 6 年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none">・地域に市の公共機関や施設があることを活かし、直接的な活動を通して、地域をより深く知ろうという気持ち育成につながった。・地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、交流することで、地域への愛着がわき、地域を大切にしようという思いが深まった。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none">・系統的なカリキュラムの見直し。・探求的な学習を取り入れ、児童がより主体的に活動に取り組めるようにする必要がある。

3. 令和 6 年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
33.1%	34.7%	22.1%	9.9%	0.0%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
44.1%	33.0%	2.2%	0.0%	20.3%